

ベリー類のアントシアニン含量と抗酸化性

福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
福島県農業総合センター会津地域研究所
福島県ハイテクプラザ試験研究報告(H18)
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

果樹 - 小果類 - 機能性(その他)
分類コード 04-13-99000000

2 担当者

関澤春仁・斎藤祐一・野上紀恵

3 要旨

ベリー類の機能性を利用した食品素材の開発を目的とし、ブルーベリー類32種、マルベリー(桑の実)8種、ブラックベリー2種のアントシアニン含量と組成、抗酸化性を調査した。

- (1) ブルーベリー類のアントシアニン含量は、ナツハゼが最も高く、ブルーベリーエキスの原料となるビルベリーよりも高かった。栽培種においては「エリオット」が最も高く、ラビットアイ系では総じて高い傾向があった。マルベリーとブラックベリーについてはブルーベリーと同程度の含量であった。
- (2) アントシアニン含量は採取時期が遅い果実ほど高く、アントシアニン含量と果実重量には負の相関が認められた。
- (3) アントシアニン含量はハウスを用いた雨除け栽培が高く、アントシアニン含量と果実重量には負の相関があった。
- (4) アントシアニン含量と抗酸化性(DPPHラジカル消去活性)には高い正の相関があった。
- (5) アントシアニン組成は品種間差が認められた。

4 その他の資料等

- (1) 東北農業研究第60号